
キミのいない世界

明日香

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

キミのいない世界

【Nコード】

N7798M

【作者名】

明日香

【あらすじ】

弱かった僕を強くしてくれたのはまぎれもなく君だった。

(前書き)

曾妹？妹曾？

とにかく曾良君と妹子が好きな方はどうぞ
↓

「もう、やめましょう。」

「え．．．何を．．．？」

「僕と、妹子さんとの関係をです。」

「別れる．．．ってこと？」

「ええ。」

曾良から告げられた、突然の別れ。

「なんで．．．．．？」

理由なんて、わかってる。

いつかこんな時が来てしまうこともわかってた。

僕と曾良は住んでいる時代が違う。

僕は飛鳥時代。

曾良は江戸時代。

僕等は本当は出会はずのなかったのだ。

時空のゆがみが現れて、僕はそのゆがみに吸い込まれてしまった。
そして、曾良と出会い恋に落ちた。

「貴方と僕は・・・住んでいる時代が違っんです。僕等をつなぐあの時空の穴が小さくなっているのは貴方もわかってたでしょう?」

曾良は優しいね。

いつか言わなければいけない台詞を曾良から言ってくれた。

ごめんね。

最後まで君の優しさに甘えちゃって。

僕は弱いね。

「・・・・・・・・・・曾良はさ、僕といて幸せだった？」

「幸せ・・・でした。貴方と出会えてよかったです。貴方を愛します。だから・・・もうここに来ないでください。」

「・・・・・・・・・・ありがとう、曾良。」

震える唇。

もう曾良に会えないと思う恐怖。

僕は弱くて、もう曾良がいないと駄目なのかもしれない。
でも、泣くもんか。

泣いたらよけい辛くなるもん。

「妹子さん・・・・・・・・、どうか幸せになってください。」

曾良の声も震えてる。

ごめん。

ごめんね曾良。

ありがとう――。

「曾良も……、幸せになってね。」

僕はきつと曾良なしじゃ幸せにはなれない。

曾良を忘れることなんて出来ないだろうな。

『忘れないで』なんて言えないけど、曾良に忘れられたくないから僕は曾良に意地悪をする。

僕を忘れないように。

「曾良、生まれ変わったらまた僕等、出会って今度はこそ結ばれたいね。」

「……ええ。また、きつと出会えます。」

あれ……泣かないって決めてたのに……。

「ふ……え……」

涙が・・・止まらないや。

「そらあ・・・!!!!」

嗚呼、ただそばにいたい、それだけだったのに。
それすら叶わない。

だから・・・せめて今だけは甘えさせて。
そしたら僕は強くなるから。

また、笑って、生きてくから。

たとえ・・・、それが曾良のいない世界だったとしても――。
笑顔を忘れないから。

弱かった僕を

強くしてくれたのは

まぎれもなく

君だったよ。

ありがとう——。

(後書き)

わああああ!!

ごめんなさい!!

石投げんといて!!

とにかく私は曾妹も妹曾もloveなんだww

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7798m/>

キミのいない世界

2011年10月6日22時52分発行